

1. 豊田事業部会・監視委員会について

3月6日(木)に、平成25年度第2回「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会豊田事業部会」(委員:学識経験者4名)を開催しました。

今回の部会では、最近の操業状況や処理施設内の各種漏洩防止対策の実施状況を報告し、また今年度実施した改造工事完成部分の現場視察も含めて、処理促進のための改造工事の状況や来年度以降の改造計画等を報告・説明しました。

また、豊田事業所で事故・トラブルが発生した場合、地域住民の方々に、実態を正確かつ分かりやすくお知らせする方法等について定めた報告・公表基準(案)について、ご意見を伺いました。



また、3月14日(金)には平成25年度第3回「豊田市PCB処理安全監視委員会」(主催:豊田市)が豊田事業所で開催されました。

JESCOからは、豊田事業部会と同様に、最近の操業状況や処理施設内の各種漏洩防止対策の実施状況、処理施設の改造計画の内容、事故・トラブル等が発生した場合の報告・公表基準(案)についてご説明し、意見を伺いました。

また、環境省からは、今後のPCB廃棄物の処理をどのように進めていくかを定めた処理基本計画の改定について説明がありました。

2. 総合防災訓練の実施



3月19日(水)、処理施設から火災発生、また初期消火活動中に怪我人が発生したとの想定で、豊田市南消防署指揮隊、同西分署消火隊及び西分署救急隊と合同の総合防災訓練を実施しました。

豊田市消防本部との合同訓練ということで、より実践的な内容となり、緊張感の漂う中、きびきびとした訓練となりました。

今後も、万一の火災等災害発生時に被害を最小限に食い止めるために、そして、事業所内のすべての者を安全に避難させるため、定期的に訓練を行ってまいります。

3. 施設見学について

平成25年度の施設見学者数

| | 4～6月 | 7～9月 | 10～12月 | 1～3月 | 計 |
|------|------|------|--------|------|------|
| 団体数 | 22団体 | 21団体 | 14団体 | 16団体 | 73団体 |
| 見学者数 | 70名 | 94名 | 55名 | 78名 | 297名 |

平成25年度も豊田市民の皆様をはじめ、行政、市議会議員、保管事業者の方々、また海外からも多くのPCB廃棄物処理に関心をお持ちの方々に豊田PCB廃棄物処理施設をご見学いただきました。

豊田PCB廃棄物処理施設では見学を随時受付しております。施設見学をご希望の方は【豊田事業HP】をご参照のうえ、0565-25-3110までお問い合わせください。

PCB処理事業紹介シリーズ 第4回

今月は豊田処理施設で無害化処理している機器についてご紹介します。

豊田施設では高濃度PCB(ポリ塩化ビフェニル)が絶縁油として使われているトランスやコンデンサを処理しています。

今回はその処理物の中から少し形状が変わった車載トランスをご紹介します。

◆車載トランスとは

トランスは変圧器とも言われ、利用目的に応じて電圧を変えるための機器です。

一般的なトランスは工場やビルなどの屋上や地下などに設置されています。

右の車載トランスは、東海道新幹線の車両に搭載されていたもので重量約3.4トンの非常に堅固に作られたものです。



当施設で処理していないPCB廃棄物として、安定器、感圧複写紙、小型電気機器、汚染したウェス等があります。PCB廃棄物の処理については、下記のHPをご確認ください。



アザラシのピーちゃん

問い合わせ先

日本環境安全事業株式会社(JESCO) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>



デジ丸